

島根益田信用組合の経営内容について

～令和4年度 上期の業績と仮決算～

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員のみなさまの社会的・経済的地位の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めています。

<コーポレートスローガン>

愛される信用組合を目指します

～ おつきあい まごころで～

<組 訓>

「奉仕」「繁栄」「啓発」

ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

私たち、“ますしん”は協同組合金融機関として、組合員のみなさまの社会的、経済的地位の向上に役立つことを目標に、地域との絆を大切に顧客づくり、店舗づくり、人づくりにて地域に密着し、地元の発展に寄与していきたいと考えております。『仕事の心得』は、その実践の為の行動基準として掲げ、信用組合の原点である相互扶助を日々実践することで愛され・必要とされる信用組合の実現を目指します。



『仕事の心得』

1. 仕事は足と情熱で！
2. サービスは知恵と真心で！
3. 顧客の喜びに感謝を！

しんくみの日 献血ボランティア

平成17年から17年間継続して

実施しています。

新型コロナウイルスの変異株により繰り返す流行、インフレと世界中が行っていた金融緩和策の終了に伴う市場の動揺、ロシアのウクライナ侵攻と政治・経済を大きく動揺させる状況が発生しています。そして、私たちの身の回りの光熱費、食料品等の値段も高騰し続けています。

この苦しい経済状況下、私たち“ますしん”は地域の皆様が一番身近な金融機関としてお客様に寄り添い、スピード感のある金融仲介機能の発揮に努めてまいります。

本年もここに「島根益田信用組合の経営内容について（ミニディスクロージャー誌）」を作成いたしましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

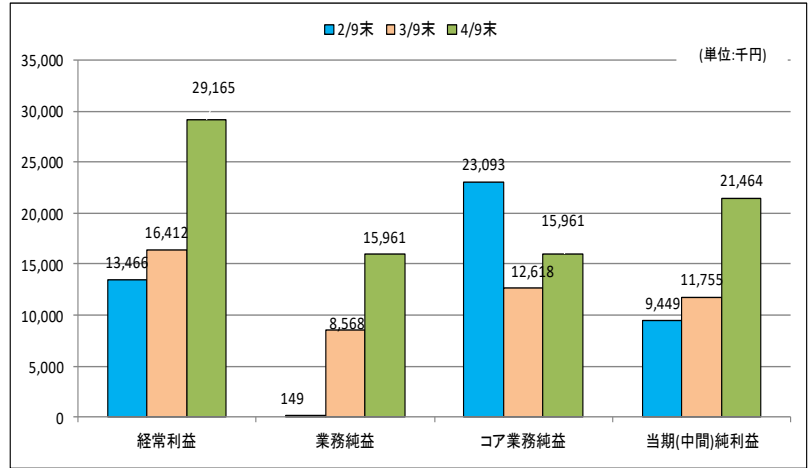
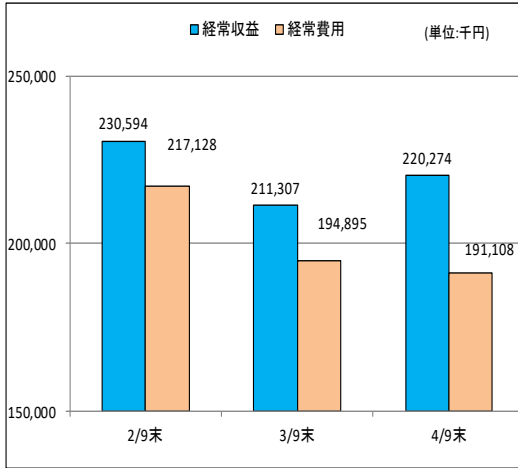
今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1. 損益の状況

経常収益は、貸倒引当金戻入益が前年同月比 13 百万円増加したことを主な要因として前年同月比 8 百万円増加の 220 百万円となりました。経常費用は、物件費が前年度同月比の 6 百万円減少したことを主な要因として前年同月比 3 百万円減少の 191 百万円となりました。

経常収益が 8 百万円増加、経常費用 3 百万円減少により、経常利益は前年同月比 12 百万円増加の 29 百万円となりました。また、コア業務純益は前年同月比 3 百万円増加の 15 百万円となりました。

以上の結果から、最終的な当期純利益は前年同月比 9 百万円増加の 21 百万円となり令和 4 年 9 月末の仮決算は増収増益となりました。

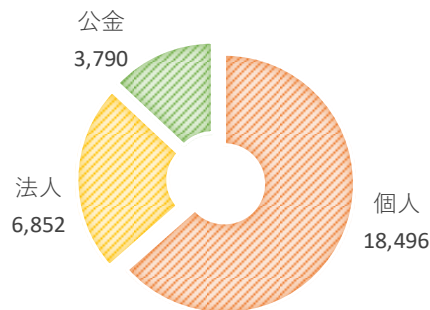
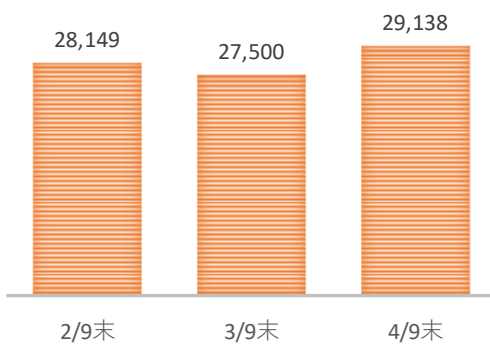


2. 預金・貸出金の状況

(1) 預金

令和 4 年 9 月末の預金残高は、令和 3 年 9 月末 27,500 百万円から 1,638 百万円増加の 29,138 百万円となりました。内訳としては、流動性預金は 8 百万円の減少したものの、定期性預金は 1,645 百万円増加、この定期性預金の増加主要因は、公金受入によるものです。

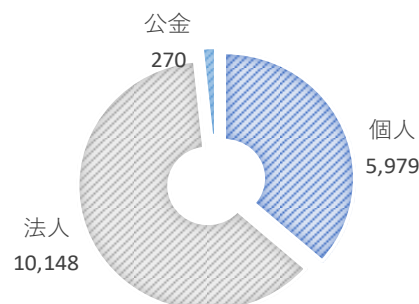
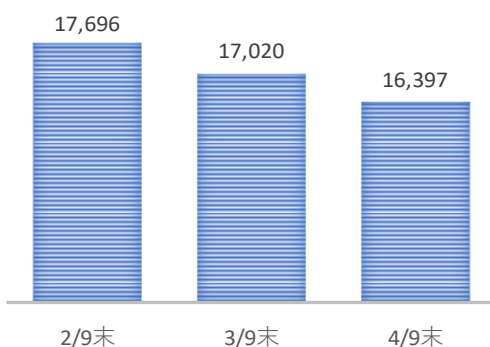
今後も地域のお客様のお役に立ち、喜んで頂くような活動を続け、預金の増加に取り組んで参ります。



(2) 貸出金

令和 4 年 9 月末の貸出金残高は、令和 3 年 9 月末 17,020 百万円から 623 百万円減少の 16,397 百万円となりました。内訳としては、法人貸出はゼロゼロ融資の反動もあって資金需要は低下し 394 百万円減少、個人貸出はフリー系が 31 百万円増加するものの住宅ローン 97 百万円減少などで 207 百万円減少となりました。

これからも、地域社会に信頼され、地域の皆様に貢献するために貸出金の増強に努めて参ります。



貸出金業種別残高・構成比 (単位：百万円)

| | 残高 | 構成比 |
|---------------|-------|-------|
| 製造業 | 866 | 5.3% |
| 農業、林業 | 309 | 2.0% |
| 漁業 | 3 | 0.0% |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 150 | 0.9% |
| 建設業 | 2,224 | 13.6% |
| 電気、ガス、熱供給、水道業 | 156 | 1.0% |
| 情報通信業 | 46 | 0.3% |
| 運輸業、郵便業 | 738 | 4.5% |
| 卸売業、小売業 | 1,881 | 11.5% |
| 金融業、保険業 | 200 | 1.2% |
| 不動産業 | 1,355 | 8.3% |

| | 残高 | 構成比 |
|-----------------|--------|--------|
| 物品質貸業 | | |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | | |
| 宿泊業 | 298 | 1.8% |
| 飲食業 | 671 | 4.1% |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 71 | 0.4% |
| 教育、学習支援業 | 410 | 2.5% |
| 医療、福祉 | 36 | 0.2% |
| その他サービス | 1,682 | 10.3% |
| その他の産業 | 502 | 3.1% |
| 地方公共団体 | 270 | 1.6% |
| 個人(住宅、消費、納税資金等) | 4,510 | 27.5% |
| 合計 | 16,397 | 100.0% |

3. 財産の状況

資産・負債及び組合員勘定

(単位：千円)

| 資産の部 | 3年9月末 | 4年9月末 | 負債の部 | 3年9月末 | 4年9月末 |
|-------------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| 現金 | 183,967 | 243,275 | 預金 | 27,500,410 | 29,138,252 |
| 預け金 | 10,441,803 | 10,692,814 | 当座預金 | 344,791 | 367,345 |
| 有価証券 | 3,925,769 | 4,393,512 | 普通預金 | 10,688,846 | 10,581,684 |
| 国債 | 101,330 | 281,180 | 貯蓄預金 | 18,367 | 16,672 |
| 地方債 | 98,630 | 91,340 | 通知預金 | 2,915 | - |
| 短期社債 | - | - | 定期預金 | 14,999,929 | 16,561,057 |
| 社債 | 2,404,086 | 2,816,759 | 定期積金 | 1,320,225 | 1,404,267 |
| 株式 | 140,930 | 114,496 | その他の預金 | 125,335 | 207,224 |
| その他の証券 | 1,180,793 | 1,089,737 | 借入金 | 2,300,000 | 1,000,000 |
| 貸出金 | 17,020,318 | 16,397,747 | その他負債 | 42,216 | 35,946 |
| 割引手形 | 374,099 | 115,234 | 賞与引当金 | 7,206 | 7,354 |
| 手形貸付 | 124,443 | 74,528 | 退職給与引当金 | 67,003 | 71,878 |
| 証書貸付 | 15,362,999 | 14,978,961 | 役員退職慰労引当金 | 11,791 | 13,607 |
| 当座貸越 | 1,158,775 | 1,229,022 | その他の引当金 | 5,842 | 16,288 |
| その他資産 | 232,496 | 220,730 | 債務保証 | 99 | 44 |
| 固定資産 | 139,144 | 129,347 | 負債の部合計 | 29,934,570 | 30,283,371 |
| 繰延税金資産 | 71,662 | 127,552 | 純資産の部 | | |
| 債務保証見返 | 99 | 44 | 出資金 | 229,355 | 229,704 |
| 貸倒引当金 | △136,271 | △123,104 | 利益剰余金 | 1,742,634 | 1,760,564 |
| (うち一般貸倒引当金) | (△87,964) | (△94,397) | 評価・換算差額等 | △27,568 | △191,719 |
| (うち個別貸倒引当金) | (△48,307) | (△28,707) | 純資産の部合計 | 1,944,420 | 1,798,549 |
| 資産の部合計 | 31,878,991 | 32,081,920 | 負債及び純資産の部合計 | 31,878,991 | 32,081,920 |

損益

| 科目 | 3年9月末 | 4年9月末 |
|----------------------|-----------|-----------|
| 経常収益 | 211,307 | 220,274 |
| 業務収益 | 206,403 | 204,782 |
| 資金運用収益 | 194,700 | 194,511 |
| (うち貸出金利息) | (169,757) | (164,628) |
| 役員取引等収益 | 9,544 | 8,446 |
| その他業務収益 | 2,158 | 1,823 |
| 臨時収益 | 4,904 | 15,492 |
| 経常費用 | 194,895 | 191,108 |
| 業務費用 | 197,835 | 188,820 |
| 資金調達費用 | 3,296 | 4,225 |
| (うち預金利息) | (3,643) | (4,515) |
| 役員取引等費用 | 18,307 | 18,034 |
| その他業務費用 | - | 600 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | 5,389 | - |
| 経費 | 170,842 | 165,959 |
| 臨時費用 | △2,939 | 2,288 |
| 経常利益 | 16,412 | 29,165 |
| (業務純益) | 8,568 | 15,961 |
| (コア業務純益) | 12,618 | 15,961 |
| (コア業務純益(除く投資信託解約損益)) | 12,618 | 15,961 |
| 特別利益 | - | - |
| 特別損失 | - | 0 |
| 税引前当期純利益 | 16,412 | 29,165 |
| 法人税・住民税及び事業税 | 520 | 556 |
| 法人税等調整額 | 4,135 | 7,144 |
| 当期(中間)純利益 | 11,755 | 21,464 |

令和4年9月末

(単位：百万円)

| | 貸借対照表計上額 | 簿価 | 差額 |
|------|----------|-------|------|
| 債券 | 4,121 | 4,294 | △173 |
| 国債 | 281 | 300 | △19 |
| 地方債 | 91 | 100 | △8 |
| 社債 | 2,816 | 2,894 | △77 |
| 外国証券 | 932 | 1,000 | △67 |
| 株式 | 114 | 157 | △42 |
| 投資信託 | 157 | 206 | △49 |
| 合計 | 4,393 | 4,658 | △265 |



総代会(令和4年6月21日)

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催いたしました。

益田市市民学習センターにて

4. 自己資本の状況

自己資本比率は、4年3月末の12.74%から0.02%上昇し、4年9月末12.76%となりました。

国内で業務を行う金融機関の基準である4%の3倍以上という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%をも大きく上回る高い水準となっており、健全な経営を行っております。

単位：百万円

| | 4/3末 | 4/9末 |
|----------------------------|--------|--------|
| 自己資本比率 (A)/(B)×100 | 12.74% | 12.76% |
| 自己資本の額 (A) | 2,054 | 2,081 |
| コア資本に係る基礎項目の額 | 2,058 | 2,084 |
| 出資金及び資本剰余金の額 | 229 | 229 |
| 利益剰余金の額 | 1,743 | 1,760 |
| 外部流出予定額(△) | 4 | — |
| うち、上記以外に該当するものの額 | — | — |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 89 | 94 |
| コア資本に係る調整項目の額 | 3 | 3 |
| リスク・アセット等の合計額 (B) | 16,126 | 16,308 |

5. 不良債権の状況

金融再生法で定められた開示債権額は、3年9月末の370百万円から24百万円増加し、4年9月末394百万円となりました。

総債権額に占める開示債権額の割合(不良債権比率)については、不良債権額の増加や総債権額の減少によって、3年9月末2.17%から0.23%上昇し、4年9月末2.40%となりました。

なお、4年9月末の開示債権額394百万円は担保、保証等、引当金による保全額335百万円によって、その債権額の85.1%はカバーされております。

単位：百万円

| | 3/9末 | 4/9末 | 増減 |
|---------------------|--------|--------|-------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 99 | 53 | △46 |
| 危険債権 | 194 | 216 | 22 |
| 要管理債権 | 77 | 124 | 47 |
| 三月以上延滞債権 | — | — | — |
| 貸出条件緩和債権 | 77 | 124 | 47 |
| 開示債権 計 A | 370 | 394 | 24 |
| 正常債権 | 16,650 | 16,003 | △647 |
| 合計 | 17,020 | 16,397 | △623 |
| 担保・保証等 B | 246 | 280 | 34 |
| 貸倒引当金 C | 65 | 54 | △11 |
| 保全額合計 D=B+C | 311 | 335 | 24 |
| 担保、保証等、引当金による保全率D/A | 84.00% | 85.10% | 1.10% |
| 総債権額 E | 17,020 | 16,397 | △623 |
| 不良債権比率 A/E | 2.17% | 2.40% | 0.23% |

島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号 TEL0856-22-3030 FAX0856-23-6250
E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp https://shimanemasushin.com/